令和7年度　自己評価(事業者)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100	0	石狩振興局の指導の下、必要なスペースを確保しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	80	20	利用者様の実情に合わせて、基準以上の人数配置に努めています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100	0	物理的な制約はあるが、適切な環境統制に努めております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	85	0	こどもに合わせた空間作りに努めております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100	0	必要に応じて、個別の場所や部屋を使用しています。感覚的な過敏性をもったこどもへの配慮も可能な限りしていきたいです。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	80	20	全スタッフが、必要な情報にアクセスできるような体制作りに努めております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	80	20	こどもの特性やニーズにより、保護者の意向も多種多様になってきております、最大限意向を満たせるよう改善につなげていきたいと思っています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	60	40	全スタッフの意見を把握することが課題となっております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	20	80	外部との共通理解が課題となっております。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	60	40	個々の研修ニーズに応じた研修を実施しております。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100	0	支援プログラムは共通理解されていると思いますが、こども一人ひとりの具体的な活動の共通理解には課題があります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	80	20	

適切な支援の提供	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	80	20	こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析し、計画を作成していますが、全スタッフとの共通理解が課題になっています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	80	20	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	80	20	一般的な研修の他、事業所内の共通理解を図るための研修を実施していきたいと思います。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	80	20	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	80	20	より一層、活動プログラムの工夫に努めます
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	80	20	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	80	20	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100	0	支援開始前には、打ち合わせを行い、役割分担等を確認しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	100	0	シフト勤務により申し送りによる共通理解を図っております。より効率的な方法を探っております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100	0	記録の効率化を図っておりますが、より一層、効率的な記録方法の改善と質の向上を図っていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100	0	より多くのスタッフの意見を聞き、モニタリングの充実を図っていきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100	0	ガイドラインを参考に、改善を図っております。

	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をするカを育てるための支援を行っているか。	100	0	こどもが自己選択できる環境作りについて、共通理解が進んでおります。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100	0	児童発達支援管理責任者が主に参画していますが、複数名での参画ができるよう改善していきたいと思っています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100	0	地域の障害福祉、教育等との連携体制は適宜とっております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100	0	学校との情報共有に努めておりますが、より一層の改善をはかっていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100	0	可能な限り、情報共有と相互理解に努めております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100	0	支援内容の情報を過不足なく伝達できるように心がけております。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	100	0	必要に応じて助言や研修を受ける機会を設けていきたいと思っています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	60	40	放課後児童クラブや児童館との交流が特定の利用児に限られております。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100	0	可能な限り、積極的に参加しております。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100	0	保護者との共通理解に努めていますが、よりたくさんの保護者とスタッフが共通理解できるようにしていきたいと思っています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	80	20	こどもの特性やニーズにより合わせて、研修や情報提供を行っていますが、家族間の交流は限定的な実施に留まっております。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100	0	可能な限り、丁寧な説明に努めているが、より一層の工夫をしていきたいと思います。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100	0	可能な限り、こどもや家族との共通理解にはかり、意向を確認するようにしています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	100	0	可能な限り、支援内容の詳細の説明に努めていますが、物理的に面談時間が限られていることが課題となっております。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100	0	可能な限り、家族等からの相談に応じるようにしています。より一層の充実に励んでいきたいと思います。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	20	80	保護者のニーズが異なるため、どのような形での父母の会がよいのか、考慮を重ねております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100	0	丁寧な説明に努めております。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100	0	可能な限り、家族等からの相談に応じるようにしています。より一層の充実に励んでいきたいと思います。HPやSNSでの発信を行っていますが、より効率的な運用に努めて参ります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100	0	引き続き十分留意に努めます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100	0	複数のスタッフが、保護者の思いを聞き取るようにしています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	20	80	地域との連携が課題となっております。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100	0	より一層、周知に徹します。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100	0	地域の会議に積極的に参加し、備えを進めています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100	0	定期的に確認をするように努めております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100	0	定期的に確認をするように努めております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100	0	石狩振興局と石狩市の指導の下行っています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100	0	家族への周知に努めます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100	0	再発防止に努めていますが、全スタッフとの共有が課題となっております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100	0	研修会の充実を図っていきます。

	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100	0	現在、該当のこどもはおりませんが、体制を整えております。